

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日 (2019.4.18)

【公開番号】特開2017-192860(P2017-192860A)

【公開日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-041

【出願番号】特願2017-152515(P2017-152515)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月11日 (2019.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

杵状の基杵部と、前記基杵部の前面側に位置する前杵部とを含む遊技機杵と、を備える遊技機において、

所定の可動部材と、

前記可動部材に設けられていて人体の接触又は接近を検出可能な人体検出手段と、

前記可動部材に制御信号を送信可能な基板と、

前記人体検出手段に対するフレームグラウンドとして設けられている金属部と、

前記人体検出手段から延びていて当該人体検出手段による検出信号を送信可能な検出用配線と、

前記人体検出手段から延びているフレームグラウンド用配線と、を備え、

前記検出用配線は、前記基板に接続される一方、

前記フレームグラウンド用配線は、前記金属部又はフレームグラウンド用中継基板を介して前記金属部に接続されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る遊技機は、

杵状の基杵部と、前記基杵部の前面側に位置する前杵部とを含む遊技機杵と、を備える遊技機において、

所定の可動部材と、

前記可動部材に設けられていて人体の接触又は接近を検出可能な人体検出手段と、

前記可動部材に制御信号を送信可能な基板と、

前記人体検出手段に対するフレームグラウンドとして設けられている金属部と、

前記人体検出手段から延びていて当該人体検出手段による検出信号を送信可能な検出用配線と、

前記人体検出手段から延びているフレームグラウンド用配線と、を備え、

前記検出用配線は、前記基板に接続される一方、

前記フレームグランド用配線は、前記金属部又はフレームグランド用中継基板を介して
前記金属部に接続されていることを特徴とする遊技機である。